



なでしこ幼稚園の教育

なでしこ幼稚園に入園すると・・・

◎一人一人を大切に丁寧な幼児教育が受けられます。

- ・幼稚園は遊びを通して総合的な指導を行う教育の場です。
- ・教師はこどもたちの気持ちに寄り添いながら一日の生活を組み立てていきます。こどもたちの“～をやりたい！”“～を作りたい”“～をして遊びたい”等の思いを受け止め様々な遊びが実現できるように援助しています。こどもたちは、遊びに没頭する中で“～ができた”“～して楽しかった”“自分で～を考えた！”等の思いを感じることができます。そのことが、自己肯定感や自信、意欲につながっていきます。少人数だからこそ、一人一人のつぶやきや思いに丁寧に耳を傾け、心を寄せていくことができるのです。こどもたちは、先生に受け止められている、先生がいつも見ていてくれるという安心感の中で、自己を十分に発揮しながら遊んでいます。



◎広い園庭でのびのびと遊べます。

- ・幼児期は身体が著しく発育するとともに運動機能が急速に発達する時期です。
- ・広い園庭で思い切り遊ぶことで体力が付き体を動かして遊ぶことが好きなこどもになります。遊びの中で多様な動き（走る、跳ぶ、登る、回る、体を支える等）をすることが身体諸機能の発達を促すことに繋がり、小学校以降の運動の基盤を作ります。



◎なでしこの森（団地公園）中で自然に囲まれて遊ぶことができます。



- ・月に3回程度、なでしこの森に出掛けます。（森の日）
- ・こどもたちは虫を探したり木を見上げたり幹に触れたりしながら全身で自然を感じています。継続して森に出掛けることで、自然の楽しみ方、季節の変化に気づくようになります。自然に囲まれていると教師もこどもも心が穏やかになってきます。

◎近隣の保育園、小学校、中学校のこどもたちと交流ができます。北砂ホーム、砂町図書館、仙台掘川公園等にも出掛けています

- ・亀高保育園、亀高第二保育園のこどもたちと一緒に遊んだり、なでしこ祭りに招待したりしています。
- ・亀高小学校とは年4～5回交流をしています。[水遊び、お店屋さんごっこに参加する、展覧会や学芸会を見学する、一日体験入学、給食体験をする等]
- ・砂町中学校の生徒さんが、運動会の手伝いや、保育実習で幼稚園のこどもたちと交流します。